

♪平成25年8月～10月のできごと

ソーリダーの
毎日 ムウウ (ムオイムオイ)

平成25年 11月 第6号

「スオスダイ テアンオックニア」（みなさんこんにちは）日本は秋から冬へと向かう時期でしょうか？カンボジアは、雨季が終わり、乾季の訪れを感じるいい天気が続いています。でも、クラチェは季節の変わり目になるといつも以上に停電が頻発します。暗闇の中で、電気のありがたみを感じる毎日です…。今回は、雨季の最後に起きた緊急事態と、最近の私の活動、カンボジアの伝統医療？をお知らせします。



クラチェ 洪水！



今年は雨がとても多い年でした。異変が起きたのは9月下旬。大雨が続き、最初は道の窪みや土地の低い所に水たまりができ、その2～3日後、クラチェの町は水浸しに…。我が家も大家さんの住む1階部分が、ひざ下（30cmくらい）まで浸水してしまいました。一番被害が大きかったのは町の中心である市場の周りで、ひざ上くらい（40～50cmくらい）まで水が来てしまい、私たちクラチェの住民は、水が引くまで1週間ほど水の中で生活しました。



洪水の中、市場の人々は、文句の一つも言わず「水がないと魚もとれないし、野菜も育たないからね～」と語り、大家さんに至っては、「水はいつか引くから大丈夫よ！」と浸水した家の中でも、気にすることなくいつも通りに生活していました。確かに洪水のせいで不便な思いをしたことも事実ですが、自然のおかげでこれまで豊かな生活をしてこられたのも事実。カンボジア人の、自然に感謝をし、自然と共に生きようとする姿勢には心底感心します。

小学校の新学期スタートが遅れるなど、洪水の影響は少しあったようですが、私の住む地域に大きな被害はなく、今はすっかり元通りの暮らしが戻り、当たり前前の日常に感謝の気持ちが溢れてきます。

しかし、カンボジアの中にはまだ洪水被害に多くの人々が困っている地域があるのも事実です。カンボジアのみなさんに平穏な暮らしが早く戻ってくることを祈っています。



平和学習



雨季休みを目前にした8月。私は養成校で行ってみたいことがありました。広島原爆を通した平和学習です。準備をする中で、この学習の大切さを感じながらもカンボジアの背景を考えると、どのように実施すべきか悩んだこともありました。「平和の大切さ」ただそれだけが伝わるよう、いろいろな人の協力のもと行った平和学習。学生たちの心にはどんなふうに響いたのでしょうか。



ANTヒロシマさんという団体から譲っていただいた絵本の読み聞かせをしたり、原爆資料館からお借りした佐々木禎子さんに関する資料を見せたりした後、平和への願いを込めてみんなで折り鶴を折りました。

驚いたのは、1945年、日本に原子爆弾が投下されたことを知らない学生は一人もいなかったこと。また、最後には東日本大震災の話になり、日本の今後が注目されていることも窺えました。

学生たちの感想には、核兵器廃絶や平和への思い、戦後の復興を遂げた広島への思いなど様々なことが綴られていましたが、「戦争によって家族が引き裂かれることが悲しい」と書いていた学生がとても多く、家族のつながりを大切にするカンボジア人らしいなと感じました。みんなが慣れない手つきで一生懸命に折り鶴を折ってくれる姿がとてもうれしかったです。私にとっては、日本人として広島出身として、自覚を持たなければと感じる平和学習になりました。

不思議

カンボジア 伝統療法



年中暑いカンボジアでも、季節の変わり目には体調を崩す人が多いようです。そんな時、カンボジアで病院に行ったり薬を買ったりできるのは一部のお金持ちだけ。では、カンボジアでは体調が悪い時に自然治癒を待つだけなのか？…いいえ、家庭でもできる伝統療法があります。それが“コ・クチョル”。先日、少し疲れがたまっていたところ、学校の先生が“コ・クチョル”をやってあげよう！”と言うので、思い切って噂の伝統療法にチャレンジしました。

やり方は簡単♪

幹部に軟膏を塗りつけ、軟膏の瓶の蓋で強くこする！
当然…こずられている時はものすごく痛い！！
でも、終わってみればなんか体がスッキリしたような？
(気がする。)本当に効果があるのかどうかは謎…。
終わった後、自分の後姿を見て息をのんだのは言うまでもありません。ちなみにこのアザ、見た目はひどいですが痛みはなく、2~3日できれいに治りました。



←使用した軟膏



早いもので、私の任期もあと5か月を切りました。もう“コ・クチョル”のお世話にならなくてもいいように、体調管理に気を付け、最後まで元気で過ごしたいと思います！

